

# 家具固定補助制度を設けては



横尾 政明 議員

【問】横尾議員

家具の固定で地震から我が身を守るこの制度の事業化を提言する。  
阪神・淡路大震災では、家具や家電が転倒・散乱してケガをしたり、出口や逃げ道がふさがれたために、避難や救助が遅れたことが報告されている。特に高齢者や避難弱者にとっては重要な施策と考える。

【答】福井町長

家具の固定だけでは大きな経費も掛からず、住民の皆様が比較的容易にできることから、補助制度の必要性は認識されなかった。しかし、高齢者世帯・身障者世帯など、自分で家具固定ができない世帯では、負担も少なくないことが考えられる。  
南海トラフ地震の被害を最小限に留めるためにも、補助制度を早期に制定し、家具固定を促進したい。



# 旧海部病院の利活用を

【問】横尾議員

海部病院移転により町経済は深刻な状況にある。商工会より有効活用検討委員会の設置を求める816人の署名簿が町長に渡されるなど、多くの町民がどうにかしてほしいと思っている。  
旧施設を町の活性化・振興拠点として運用を。

【答】福井町長

町経済の活性化と賑わいの創出のため『旧海部病院を有効活用するための検討委員会』を年内には設置し、早期に旧海部病院が有効活用されるよう取り組みたい。



旧海部病院

## 編集後記

朝晩、めっきり涼しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

米ジョージア大の研究グループが1950年代初めからこれまでに生産されたプラスチックの量を推定したところ、83億トン、ジャンボ機約4600万機分に相当し、うち63億トンがゴミとして捨てられたそうです。

一方でゴミ対策も進み、外国では使い捨てのプラスチック容器を禁止する国も出てきました。我々牟岐町民も暮らしの中で見直す余地はたくさんあります。

「素晴らしい自然をつぎの世代へ残すため」「本当に豊かな暮らしはなんなのか」「一人ひとりが考える時代になってきたのかもしれない」。

お気軽に皆さんのご意見・ご感想をお寄せください。  
電話 七二一三三二一  
FAX 七二一七二一六  
「広報編集委員会」まで  
お願いします。